



もいおかYMCA ニュース



Yに集う人々②

春は巣立ちの季節です。YMCAに集い子供たちと一緒に過ごしてきた大学生リーダーのうち何人かはこの春、卒業して盛岡を離れる予定です。YMCAは、出会いと気づきの場です。リーダー達も子供たちと過ごす中で自分自身にきずきいろいろな面で成長してきたことだと思います。紙面を借りてこの春卒業するリーダー達を紹介いたします。

リーダーの間では姉御的存在。今年は、最後の年ということで一番多く、参加してくれました。夏のキャンプのリーダーぶりは見事というほかありません。



小野寺千夏リーダー

2年間有難う。おもに月が丘サッカー教室に来てくれた沙織リーダーは4月からはホテルウーマンです。

三浦美穂リーダー



子供が好きで好きでたまらない美穂リーダー。私は盛岡にきて本当に、心から子供が好きな若者に会えたことを嬉しく思います。4年間ご苦労様。

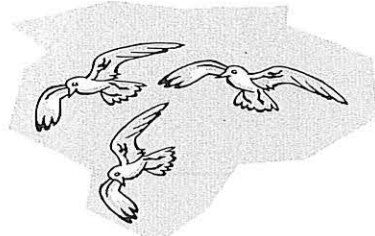
小笠原沙織リーダー



三浦千尋リーダー



土曜日の中津川サッカークラブに来てくれていました。子供の声に耳を傾けてくれる優しいリーダーです。



紙面の関係で、通常プログラムに参加してくれていた、リーダーを紹介しましたがこの他にもキャンプ、サッカー大会に参加してくれた藤村美郷、工藤利恵、佐々木順子リーダーがこの春卒業します。

O.Jの ワンポイントバイブル講座

ヘルマン、ヘッセの童話「アウグスス」を読みました。未亡人のエリザベト夫人は可愛い息子を授かった時、この子が世界中で一番幸せな人間になるように望みました。隣に住むピンスワングル老人がこの生まれたばかりのアウグススという赤ちゃんを訪ね母親にこの子にける彼女の願いはなんでも聞き届けられると伝えました。

そこで夫人は「みんながお前を愛さずにはいられないように」と願います。この赤ちゃんは人目ですべての人の心を潤すような少年になったので、多くの少女達は彼を愛しました。その結果、愛されることに慣れきったこの美少年は、愛されても相手を楽しませることができない人間になっていました。青年になった時、彼はプレイボーイとなり、多くの人妻をもてあそぶまでなっていました。でも、彼の心は幸せから遠ざかるのみで不気味な空虚がはびこりました。多くの美女に取り囲まれている時、自分がだれにも、何事にも関心がなくなっていることに気が付きました。ついに、自殺を決意した彼は友人を集めて、その前で毒薬を飲んで死のうとしました。するとそこにピンスワングル老人が現れ、彼の秘密を語ります。そして、彼を幸せにするためにその母が願ったことゆえに、彼は不幸のどん底に落ち込んだことを知ったのです。

アウグススは「すべての人に愛される」という魔力を取りさつてくれと老人にたのみ、その代わりに彼が願ったことは「すべての人を愛する力」でした。彼は数年獄中で過ごし、出所してみるとその顔はやつれ、かつての美しさはどこかに消えていました。しかし、彼の心にはすべての人に対するあたたかい愛が泉のように湧いてきました。子供たちを祝福し、自分をあざける人達に許しのまなざしを注ぐことができるようになり、本当の愛を初めて知り、満ち足りた生涯を送ったという話です。

この童話はヘッセが考え出した人間ですが、マルティン・ルーサー・キングというアメリカのクリスチャンがいました。彼の『汝の敵を愛せよ』という書物は素晴らしいものです。神と永遠を含む遠大な計画を立てる人間こそは、回心後のアウグススのように、キングのように自分を捨てて、愛に生きる人間なのです。

「愛は忍耐強い。愛は情け深い。ねたむことをしない。愛は自慢せず高ぶらない。」
(コリント信徒への手紙1 13章4節)